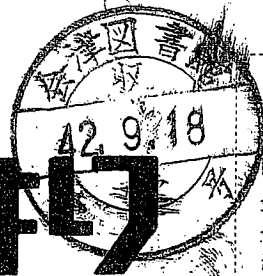


戊辰百年の誓い あいさつ	2
座談会「都市づくり百年の ビジョン」	4
随筆「会津藩と戊辰戦争」	7
目でみる会津百年 「あの日あの時」	8
アンケート「会津開港に提言」	12
対談「会津男・おんなを語る」	14
会津学生気質	16

会津若松



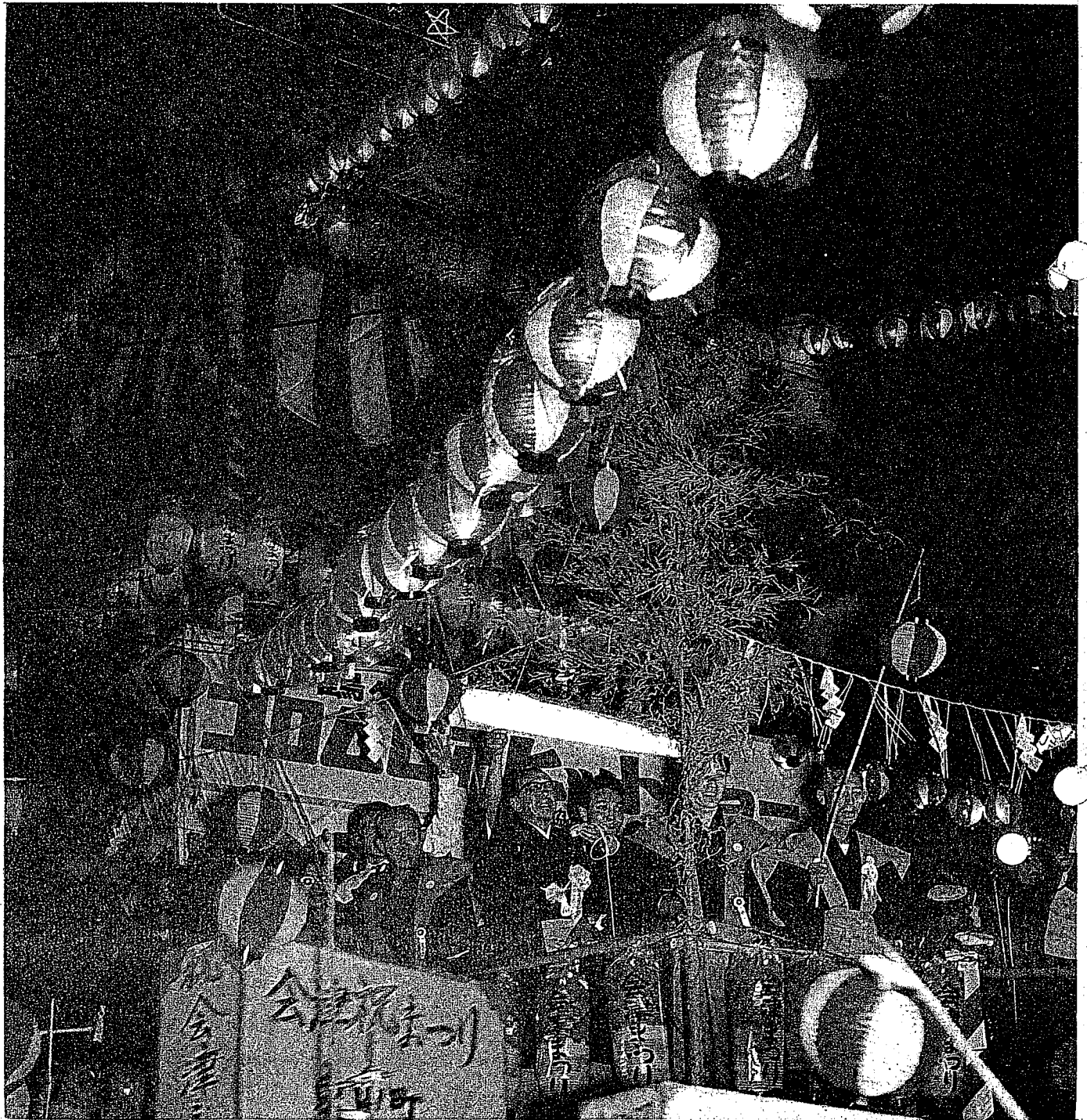
253号

市政だより

昭和42年9月15日発行
 発行所 会津若松市
 発行人 竹田正夫
 編集 辰報係
 定 価 5 円

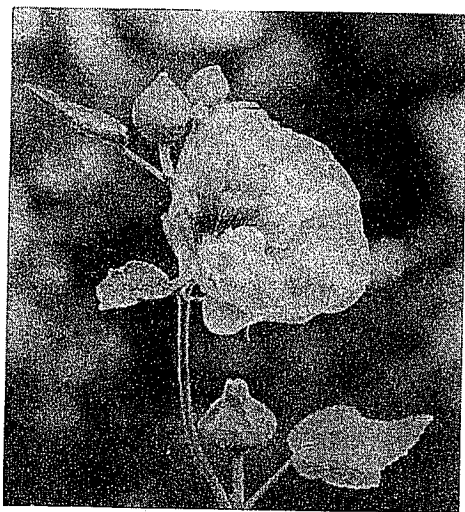
昭和26年7月6日第三種郵便物認可

毎月1日・15日発行



明治戊辰百年記念
 特 集 号

戊辰戦争から百年、まさに1世紀の歴史が流れた。
 この百年は、苦難の歴史といえよう。
 その中の事象は、すべて、今日に大きな示唆を与えている。
 今、新しい1世紀のスタートにあたり、私たちは叡知と勇気
 もって、逞しく歩む新たな決意が必要であろう。



戊辰百年を記念して制定された市花「あおい」

戊辰百年の誓い

私たち、会津若松市民は、戊辰戦争の日から数えて、ここに百年を迎えようとしている。

- 一、近代日本の開幕はまた、新しい統一国家としての出発でもあったが、そこには、内外の危機を乗り越えるためのはげしい抗争と変動が絶えなかった。この間において私たちの先人は、利害を超え、平和による解決を念願して努力したが、そこにもたらされたのは戊辰戦争の悲劇であり、敗者の苦悩であった。
- 二、けれども私たちの先人は、これらのきびしい運命に雄々しく立ち向かい、多くの苦難とたたかいながら、新しい郷土を創造するための意欲と

戊辰百年祭に寄せる

文部大臣 劔木亨弘

今回、会津若松市の明治戊辰百年祭に御招き頂き、私が年少の頃より深く関心を持って参りました会津の風物に親しく接し、明治戊辰百年の意義を想起いたし



ますことは、私の衷心より喜びとするところであります。明治維新において、会津藩は天皇の信任最も厚かった藩屏の地位より一転して賊名を負われ、藩を挙げた戦い、斗南藩三万石の不毛の地に移されるなど、最も波瀾多い運命を辿られたのであります。私共教育の府に携わるものとしては、その敗戦窮乏の

中において国を再興するに何よりも人間をつくることとが第一であるとして、子弟の教育に捧げられました会津地方先人の情熱と努力に對し、深い感銘を覚えるものであります。

の精神陶冶の場でありまして、学生ひとしく深い感銘のうちに遠く会津との心のつながりを覚えたものであります。

私は、かつて日新館の教育によりその名を宣伝されました会津藩の気風が、その後百年の辛酸を経て今なお脈々と流れていることを確信し、本日を出発点として新しい発展を遂げられま

ここに新たな決意

国務大臣・行政管理庁長官 松平勇雄

我が会津にとって忘れることのできない明治戊辰の年から、既に百年の歳月が



経ちました。この百年は日本民族にとって実に波瀾多い期間でありましたが、特に会津にとっては変動と苦難の連続でありました。

徳川の親藩として受けざるを得なかった京都朝廷の御守護、孝明天皇の御信任、大政奉還を中心とする情熱の激変、会津籠城と敗戦、斗南藩への移封、廃藩置縣

と新秩序への変遷、鶴ヶ城の取壊し、非中央政府側としての苦難、勢津子姫の秩父宮家への御興入れ、大東軍戦争突入と敗戦、戦後の混乱と復興、鶴ヶ城復元等々、父祖三代に亘る喜びや、悲しみが、身近かに次々と思い出されて参ります。

来に生かす叡知と勇氣を持ったものだけが、未来の栄光を把むことが出来るのであります。この百年祭の意義もここに存するものと確信致します。

私共は、この百年の間にそれぞれ榮辱を身に受けながら、郷土のために黙々と散って行かれた幾多の先人に心からの哀悼を捧げながら、その心をうけついで新しい郷土の建設への精進を誓いたいと思っております。

史を正しく学び、歴史を将



希望と躍進の象徴「青年の像」
(国立誓梯青年の家)

情熱を燃やし続けてきた。起伏に富んだ百年の歳月を通じて、政治経済、教育文化などの分野における先人の業績は、偉大な遺産として私たちのなかに脈々と生き続けている。

三、会津若松市が未来に向って限りなく前進しようとしている今日、私たちは先人の輝かしい業績に対し深く敬愛と感謝の念を捧げるものである。と同時に、新しい時代に生きる私たちはさらに広い視野に立ち会津の繁栄をめざして努力することこそ、先人の精神を現代に生かす道であると確信する。

いまここに、意義ある戊辰百年を迎えるにあたり、私たち会津若松市民は決意を新たに、一層の努力を誓うものである。

戊辰百年を祝す

福島県知事 木村守江

会津若松市「市政だより」戊辰百年記念特集号が発行されるにあたり、お祝いを申しあげます。

ご承知のとおり、こんに



ちわが国が、アジアにおける先進国として繁栄しているその近代化のといぐちは、明治維新からであります。

政府においては明年、この明治から百年にあたることを記念して、国家的な行事を計画していると聞いておりますが、会津若松市は明年の明治百年記念事業に先立ち、会津戊辰百年記念

として、多彩な行事を催されるのであります。このことは、会津若松市が、明治の開化にあたって大きく影響した戊辰戦争の中心地として、当時の先人達の苦難をしのび、また、その遺徳偉業を顕彰することによって、戊辰戦争から百年を一つの転機として、新しい会津若松市を建設しようという意欲のあらわれであり、誠に意義深く、時宜をえたと存するのであります。

開県といたしましても、会津若松市が、会津地方開発の中心として発展し、後進地域から脱却する推進役となることは、本県の躍進に寄与するものであり「健康で住みよい県土」づくりを推進させるものであると、確信するのであります。

戊辰百年記念事業にかけ地域住民の熱意が、新しい会津を、無限に発展する会津を象徴するエネルギーであると、そのご努力に對し深く敬意を表しますとともに、その成果をご期待申しあげ、戊辰百年のお祝いといたします。

平和と繁栄を願う

明治戊辰百年祭実行委員会委員長 会津若松市長 横山武

ここに私たちが郷土の先人に対し盛大なお祭りをするのには、先人が日本の夜明けに果たした歴史的、人間的な役割を、この機会に再認識し、その勇気と努力をほ



めたくすると同時に、先人が体験した百年の歴史的歩みから真の平和と繁栄への限らないねがいを、現今の産業、経済、文化の各分野に、市民の着実な歩みとして大きくしるしてゆきたいからであります。

特に明治戊辰において農工商にたずさわっていた庶民の苦難の生活をうかがい識るに及び、世の顕彰、或は遺徳への崇拝の念は、単

に歴史上の人物にとどまることなく、こうした生産的庶民と、そしてその復興へのたくましいエネルギーに捧げらるべきと考えるからであります。

そして私たちがはるかな地平線に自らの未来像をみる時、かゝる先人のそうした苦難と失敗、或は努力と成功の歴史こそが、これからの国と社会、政治と経済、思想と倫理などについて厳しく、しかし明るく明示するものであって、それは私たちの大きな知恵であることとを知らねばならないと考

えながらあります。

私たちはこの記念すべき百年にあたり、住民の総力を結集して新しい会津、いとしく希望を抱き、限りなく前進することのできる理想の郷土を創造することを先人に誓いたいと思うのであります。

この意義深い百年祭の行事、事業はこれから数多く実行に移されてゆくわけでありますが、どうかより多くの方の御参加と御協力を切望して止まない次第であります。

明治戊辰百年祭の開会にあたり一言お願いを申し上げます、市民の御多幸と御健康を心から祈念いたしまして私の挨拶といたします。

百年のビジョン

若さが語る未来会津の姿

座談会

築きたい特色ある都市

明治の維新から一世紀を経て、会津はいま、新しく歴史の一ページをスタートしようとしている。

そこで、産業経済、教育文化などあらゆる問題にわたる会津の未来像を、横山市長と若手産業人のみなさんと語っていただいた。

若人のフレッシュな感覚は都市構成すべての条件と質度を分解し、改めて未来会津の都市像をここに描いて、飛躍会津の道しるべとした。

市民憲章の制定を

司会 最初に明治戊辰百年祭を、市をあげて展開するわけですが、行事や意義、考え方などについてご説明願いたいと思います。

市長 今年是全国各地で明治百年の行事をやっているが、本市の場合は戊辰戦争から数えて百年ということ、この行事を進めて行くことにしている。ねらいとしては、歴史的に忘れてならない、戊辰戦争前後における先人、先輩の苦難の道を取り返し、また、先人の偉業や遺徳を顕彰するとともに、後代の人たちにこの姿を伝えて行くということなのです。数々の行事も計画していますが、こうした意味から、形だけの行事を行なうお祭りではなく、精神的なものを見出す年に行いたいと思っています。

そこで、この年を契機として、市民憲章をつくりたい。これは、本市の市民の憲法ともいふべきもので、



横山市長

の繁栄に功を尽された方に贈ることにしたいのです。立志伝中の人で、市の指導的な立場もあって、市の財政面など、寄与された方こそ、名誉市民の称号を得

る人でないかと思うからです。それから、会津図書館の建設、年々失なわれていく郷土の史料を保存し、後世まで残すために史料館の建設をしたい。ざっと精神面で考えればこんなところですね。明治戊辰百年を機に、先人に負けない人材を輩出させる基盤をつくらせて行きたい。

司会 会津青年会議所に市民憲章についての話がありました。

夢を大きく「無税都市」

市長 その通りです。草案のねらいは、市民一人一人が自分たちでつくる憲章であるということ……押しつけてでない憲章、守られる憲章にしたい。まあ、全市民で作成するといっても拾取りは、若い人たちが、特に本市の知的で、社会的に中堅となっている青年会議所の方たちのご意見を聞くことになったものです。

無税の要因をさぐると、三分の一が大工場をかかえ、この固定資産税で市の財政をまかなっており、あとの三分の一は観光都市として成功している。鎌倉、逗子、日光などがこの中に入る。ここ数年若松の年間予算は毎年約一億円づつ増加しているが、全般的な所得水準の向上ということもあるが、これは、はからずも観光行政を強く推し進めてからの現象になっている。

そこで観光事業をさらに総合的に推進する一方で積極的な企業誘致をはかっていけば無税都市も夢ではなくなる。毎年入ってくる若松の観光客は約二百万人、そのうち八十万人が泊まっているが、これをさらに増やすこと、国民の観光に対する嗜好のつまり、家族ぐるみで安上りの観光という大衆性をよく把握して総合的なものにしてゆく。そのために松にして、無税都市を実現したい。戊辰百年を記念して鶴ヶ城の櫓などを整備するのも、市内にある史跡、



山本氏

山本 市民憲章は結構だ。われわれの会議所でも色々検討しているが、憲章をつくるだけでなく、そのあとのように盛りあげて行くか。何年後に内容を更新しなくてはならないようでは困りますから……

市長 私の夢は無税都市にしたいということ。現に全国三千五百五十の市や町のうち百六十の都市が不交付団体となっている。東京都下でも八つの市町が無税になっている。

ならず、もっと産業の基盤をつくることに努力するようお願いしたいですね。

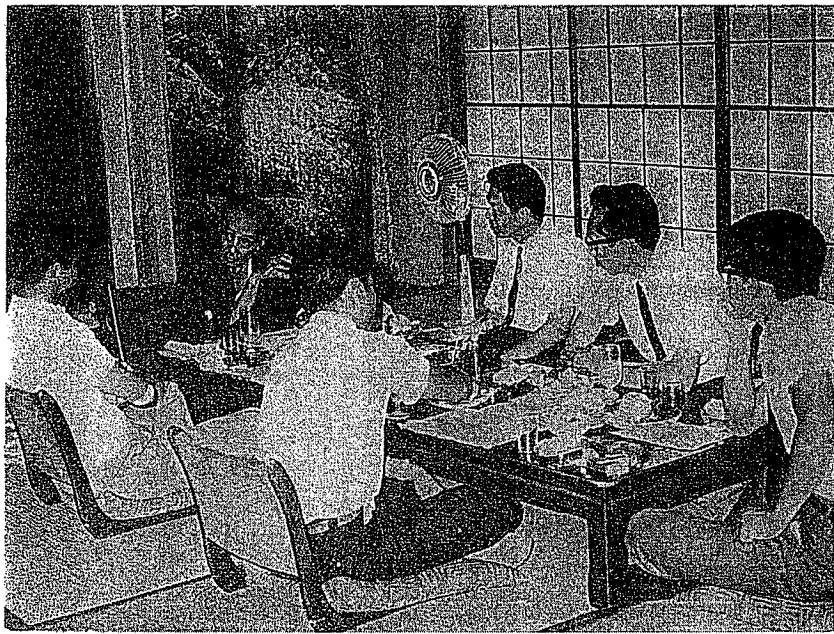
富士通誘致に一役買った竹田さんが、農工業コンビナートをつくるというような構想をもっているの聞きましたが……

にあらうかいて、地理的なハンデキャップもあるだろうが、井の中の蛙という言葉にぶつかってきませぬ。もっと広く世間に目を向けて行かなくては、会津の発展は停滞してしまふ。具体的には大企業の誘致、あるいは企業合同の問題などを考え、これらを進めて行くような方向に向うべきだと思いませんか。大変なことだと思いませんか。とにかく、酒と漆器だけにとどまらず、

また、背あがり山の自動車道、崎川浜には市民青少年湖水浴場、船をつくり遊覧と航路運行をさせ、猪苗代から八分、ここから背あがり山まで十分の距離にする。宣伝も、十分に若松にという具合にする計画をもっているのです。背あがり山の風景は日本観光協会によって日本一、二位とは下らないと評価している程だから宣伝をし、設備投資すれば、外貨の獲得は大変なものになる。それを市民に還元する。無税都市は実現できると思う。とにかく裏磐梯に引ける四百万人の客を若松までつなげることに……磐梯町の源橋道ができれば、無税都市は魅力がある。現在若松は人口十万人

- 出席者
- 会津若松市長 横山 武
 - 会津青年会議所 理事長 山本 邦夫
 - 同総務担当理事 中沢 剛
 - 若青協委員長 渡部 幸道
 - 佐々木 一男
 - 会津青年会議所 経済活動担当理事 司会 星野 俊二 (順不同・敬称略)

都市づく



未来会津の姿を創像して若人の意見は活発に行き交う。
左から星野、横山市長、渡部（後向き）、山本、中沢、佐々木の各氏

が努力しだいでこれから人間も増えてくると思えますね。穀倉地帯会津の農業の形も変わってくると思う。一軒の農家の生産性をあげるには規模を大きくしなければならぬ。すると農業人口は減らざるを得ない。という循環が行なわれることになる。住みよい都市は二十万くらいでないですか、まあ、この中に二三の大工場があると無税都市の可能性はあるのではないかと……他の企業への波及効果も大きいでしょう。

市長 富士通だけでも第一次で三千人、第二次計画で三千人の労働力を必要とする。政府でも盛んに論議を戦わして来たようだが、耕作面積が一町以下くらいの小規模経営では、農家経営は成り立たなくなりつつあるのが現状です。消極的ではあるが、田を転売し職業を変えるか、または余剰労働力を他の生産部門、先ほどの富士通にでも向けていくというようなことになり、よ

結ぼう観光と農業

を流すような工場では駄目だが……

司会 農業面の問題について、渡部さんいかがですか。

渡部 私達は青年会の研修会などでも今後の農村はどうなっていくのかといつも問題になります。農村人口の流出、市の観光政策と農村の関係を改善しようまく結びつかないものか、かつて政府でも盛んに論議を戦わして来たようだが、耕作面積が一町以下くらいの小規模経営では、農家経営は成り立たなくなりつつあるのが現状です。消極的ではあるが、田を転売し職業を変えるか、または余剰労働力を他の生産部門、先ほどの富士通にでも向けていくというようなことになり、よ

会津をレジヤードに



渡部氏

山林原野部とをかみ合せた

立体農業、つまり、米作と畜産経営、あるいは果樹栽培などを考えることの必要性が生じてくる。どうでしょう、平坦地の農家に固有の原野などを何らかの方法で開放するというのは、若松の周囲には山林、牧野も広くあるんですから。農業の規模拡大にもなるし、今後の農政には国有林野の開放がぜひ必要になって来ると思うしそこから明日の農村の夢が生まれてくるのではないのでしょうか。

り一層の兼業化が進む生活は安定する。……で中間農民層の問題は、構造の改善という課題がでてくるのですが、平坦部の稲作と

が、着々実は結んでいる。隣接町村と共同で運営している衛生プラント、電子計算機も相互理解を深める上で大きな前進となった。これらは大都市建設の前提ですよ。三年前に組織化した会津総合開発協議会は、すでに多くの課題を一つ一つの解決し、二十五万都市づくりの下地は、こうして徐々にあるができていくと

司会 いよいよ大会津への道ということですね。なぜ成るんですね。

中沢 会津の地理的条件、社会的条件によって、二十五万都市も可能でしょうが二十万くらいになれば理想的な都市になる。こうしたことと別に、シブズン人口をもっと増やすことはどうでしょう、たとえば、会津を家族休養地・ホリデー・ファミリーゾーンにするのです。これからますます勤労者の休日が増えてくる。所得もあがり、二、三人共同で別荘くらい持つることになったとき、環境の良い会津は休養地として適当な地だと思いますよ。そうすると単なる観光地ではなく、二日でも三日でも生活の場となつて、会津に落ち金も多くなる。商業部門への刺激にもなるという計算です。そして特に強調したいことは緑と太陽のまち会津若松の建設ですね。

佐々木 中沢さんの案を一步進めて、工場の沢山ある郡山などのベッド・タウン的なものにする。

司会 田を売つてもというのさびしい話ですね、市の農政として国有林野の開放とかの手だては、市長 それも解決の糸口になるうが、まず、耕地を増やさなければならぬ。その一環として、現在、湊町地区で行なっている吉ヶ平ダム建設がある。このダムの建設によって七二ヘクタールの開田を可能にしている。それと観光に結びつけた農業、果樹栽培などを、いま市の農政で研究、調査しています。不毛の地を有効に生かすことを研究したい。

渡部 野菜なども直接、大都市へ送るよう改善しなければなりませんね。市長 さきほどの酪農問題にしても、家畜の貸付をさらに強化し、食肉の計画出荷を目論んで、いるんですけど、来年度工したい

とありますが、食肉センターに大型冷蔵庫を建設するつもりでいます。山本 たしかに農業問題には、人口とコストの問題がついてまわる。一戸当りの生産性を高めるために十五年くらいで就農人口を半減させなければならぬといわれる。そうすると、いよいよ、会津の農業地帯から他の産業地域に人口は流れてしまふ。恵まれた観光資源の開発も大切だが、工場誘致という面にも本腰を入れないければ、ますます会津全体の人口が大巾に減少することになりますね。

市長 実際面で、工場の誘致はむづかしい。会津に向く工場については、東京商工会議所に頼んで調査も行ってきている。調査線にのってきたものについては、すかさず当たっているのだが、しかし、資本家の企業であ

山本 周辺市町村の発展があつて、それにつれ成長するという考え方も考慮しなければならぬですね。市長 広域都市構想は、だいぶ前からもっている。現在はムードづくりの段階だ



佐々木氏

市長 広域都市構想は、だいぶ前からもっている。現在はムードづくりの段階だ

未来の会津若松は 太陽と緑の街に

司会 緑と太陽の街という
ことになりすね。
佐々木 下地はあるから可
能性は高い。

市長 中沢さんの構想は可
能性がある。子供の教育資
料となる史跡なども多く、
気候も良いし、別荘といっ
ては大げさだが、小さな家
を造ることぐらいはできる
ようになるね。

佐々木 レジャー産業とし
て、ロープウェイや国民宿
舎なども揃っているし。
市長 若松市を無税都市に
するには観光の開発、振興

といったが、具体的には施
設を拡充することと思う。
市民のために屋内体育
館、能舞台、音楽堂、展覧
会場などあらゆるものを含
めた、名づけて「総合市民
センター」のようなものを
建てる。つまり、市民が

家族ぐるみで体力づくりを
したり、教養をたかめたり
できる。ひいては、そうい
う形の観光施設にも立派に
なりうると思えます。これ
は、冬の期の外客誘致に大き
なプラスになる。そのかわ
り立派な施設にしないでほ
ならないですね。背あぶり
山の整備も続けて行ないま
す。しかし、発表すると、
心ない人間にも自然が荒
される。山にもウエなどほ
一匹もいなくなってしまう
た。全く残念なことですよ。

市長 一般的にいえばそう



星野氏

司会 青年会議所では、い
ま高校三年生二千人を対象
に就職についての調査を行
なっているが、地元に残る

という者は三割弱。もっと
中小企業の態度も改められ
ないと駄目になりますね。
山本 恵まれた条件と他と
の接触が少なかったことで
のんびりとした経営が行な
われていましたね。東北の中
でも、市として古い方です
が、後進都市でしょう。
市長 一般的にいえばそう

ね。これから新しいスタ

若い力で躍進会津建設を

司会 学園都市は良いです
ね。条件は揃っているし、
しかし、どういう方向にも
なってゆくか。

山本 県内青年会議所の代
表が先日知事と会ったので
すが、短大に農科は新設し
てもよいとの意向でした。
市長 それは私の年来の主
張です。特に働きながら学
問、という形の高校が次第
に充実して来ているから、
大学の夜間部なども、考え
たい。

中沢 これからの会津——
市民として考えなければな
らないのは、サマナラ明治
百年、コロンブス航海一七
七〇年といふことだと思
います。これからの新しい
こととつながって良いこと

は、やはり強い政治力と、
住民の結束だと思えます。
成辰百年を期しみな「前
むきの姿勢で事にあたる」
という自覚を持つことです
ね。

司会 交通緩和策の横断歩
道橋をつくるにしても、政
治がなすすぎる。
中沢 とにかく実績をつく
ることが権力をもつものに
宿命といえますね。あとは
市民の自覚。それにしても
先人に進取の気性がなかつ
た。残念ながら優秀な人材
が他に引っ行ってしまった。学
園都市として人材を養成し
なくてはならないですね。

山本 市や県で金をかけた
人間が他に行くのは惜し
い。会津工業高校などは優
秀なのだから方法を構じな
くてはならないですよ。

山本 いろいろ希望や意見
を申しあげたが、われわれ
若い者としても、今後の具
体化に責任を感じます。
中沢 われわれの理想と、
実行力のある人材の結びつ
きで、会津は育って行くこ
うなことにもなりますね。
市長 若い人たちが結束し
て、未来像というか、理想
をつくってください。政治
にも理想がなければ駄目
です。都市づくりに大きな
理想をかかげることです。

中沢 人口の増えた時の都
市問題は大変だと思うので
ごんな構想を描いてみまし
た。神明通りの式線を一
階が四階の高架にして、一



中沢氏

「戊辰」の意味
慶応四年(一八六七
年)正月、鳥羽、伏見の
戦いによって戊辰戦役の
戦端は切れておとされ、
また、九月二十二日には
幾多の犠牲とともに会津
鶴ヶ城が開城して、会津
の「運命の年」となりま
した。

この時を起点として百
年目を数え、会津はこと
し戊辰百年の祭典を挙行
することになったもので
す。
ここで「戊辰」という
名称についておぼろげと
昔の暦法で時日、時刻、
方角につける称呼で、慶
応四年(明治元年)は、
この「戊辰」の年にあた
っていたことから、わが
国の黎明をつげる戦い
が「戊辰の役」と呼ばれ
るようになったと思われ
ます。なお、「戊辰」の
年は六十年に一回巡りあ
わせることになっていま
す。

最後に国の明治百年に
ついておぼろげと、起点
は明治の元とし、ここか
ら百年を数えておりま
す。そのため多彩な催し
も、すべて来年に行なう
こととして準備を進めて
いるのです。会津の明治
百年が一年づれてくるの
は、こうした歴史の解釈
から生じたもので、いづ
れもそれぞれに意味があ
るのです。

(終)

随筆

会津藩と戊辰戦争

奈良本辰也

歴史には流れというものがある。これは、ときには人間の意志をこえて動く場合もあるが、また人間の意志によってそれを変えることもできる。つまり、それに働きかけて、流れの方向を移動させるのだ。

そのような人間の意志がいちばん大きく發揮されるときが歴史の激動期である。明治維新は、たしかに大きな歴史の激動期であった。政治的にも経済的にも、これまでのような幕府の体制ではどうにもならないことが判ってきていた。

封建社会の基本的な考え方は、貴族賤金であるが、もう誰も実際には、そのような考え方に立つ者はいなかった。八代將軍吉宗のような人でさえ、山下幸内の上書では、貴金賤殺の政治をしていると批判されている。そして、天保の改革は、諸藩の自立性を強め、大藩はそれぞれが一つの独立国のような形をとらだしていた。

しかも、一方では欧米列強の進出が目立ってきて、インドやインドシナを植民地にし、清国もその制圧下にあえいでいる。「第二のインドになるの危機」という言葉がしきりに先覚者たちのあいだでかわされ、清国が紅毛の夷人に敗れをとったことが人々の心をしめつけていた。

バラバラになっている諸藩が一つにならなければこの危機は救えないのである。当然のことながら、最大の権力者であり、また実力者でもあった幕府がその責任をもつべきであ

った。井伊直弼によって安政の大獄に葬られた橋本左内も、吉田松陰も、幕府以外にそれを考えていたのではない。いはんや、他の志士たちにおいてである。

たゞ、彼らは、その安政の大獄以後、急速に幕府の開国に対して攘夷ということで対立しはじめた。それには色々の理由もあるが、一つには幕府が断平たる方針を打ち出し得なかつたことがこれにさしたのだ。主体的に、理想をもって開国をやつたのであれば、あるいはそうした攘夷論者たちも、そのように多くは輩出しなかつたにちがいない。

だが、幕府はそれではできなかった。断平たる方針は、安政の大獄の弾圧だけだつたのだ。政局は、幕府に対して次第に不利になってきた。そして、終始かわらず攘夷をさげび

つづける京都朝廷を時代の表面に浮びあがらせてきた。そして京都の地は、諸国の志士と称するものたちが入り込んで、世間知らずの公卿間を往来し、陰謀や術策が渦を捲く土地



となつたのである。このとき、京都守護職として登場したのが会津藩主松平容保である。これまで、会津藩は東北の雄藩として、士気も剛直で、兵においてもすぐれているというこは言われていた。しかし、時代の先端に立つて動くという藩ではなかつた。いや容保自身、政治の要めとなつて政局を左右するような性質の人でもなかつた。

それが、いきなり將軍から京都守護職を命ぜられ、しかも陰謀と術策の渦巻く京都の地に推し出されたのだ。容保は、このとき一身や一藩の保全を考へてはならないと思つた。

たゞ、誠心誠意でことにあたるのみだと考へて、京都の地にやつてきている。

しかも、容保は京都の地で、孝明天皇の本當の心というものを知つたのだ。天皇もまた彼を信頼しておられる。將軍からは、貴殿をおいて他に人はないと言はれ、天皇からは最も信頼すべきはお前だといはれる。最高の尊敬をうけている二人の者から、お前以外に人はないといはれて感激しなかつたら、それはよほどの性悪者であらう。

だが、善良なる貴公子松平容保の悲劇は、こゝに始まつた。彼は、公武合体は必ずできると信じ込んでしまつたのである。いや、この歴史の激動の時期を乗りきるには、人心の

一和しかないが、その一和のいちばん大切なところが氣持が通じているのだから、それはどんなことがあつても実現しなければならぬと思ひ込んだのである。

そして、天皇の御意志も変りはなかつた。孝明天皇は、最期まで公武合体論者であつた。松平容保は、この線を最後まで守つてゆづらなかつたのだ。会津藩の剛直な精神も、また最後までそれを支持した。

公武合体で、そして尊王、攘夷！そうだが、容保は天皇の意志を体して、攘夷の途も考へている。――そうした政治の方向も、維新の一時期に考へられぬことはなかつた。だが容保に利がなかつたのは、幕府の首脳に人物がいなかつたことである。

いや、たとえ幕府のなかに人物があつたとしても、それは全く自分の意志を通ずることができないような状態にあつた。小笠原長行にしても、勝海舟にしてもそうであらう。それが西南の雄藩とちがうところだつたのだ。

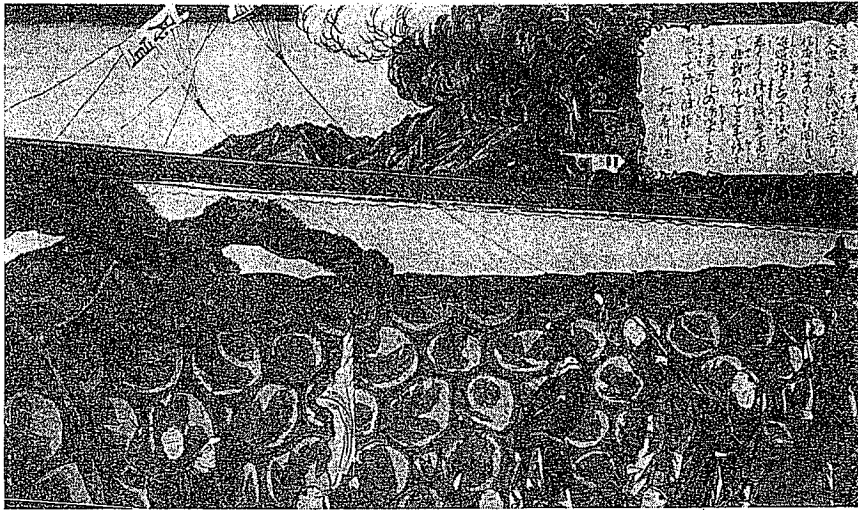
西南の雄藩では、軽輩の者でも力量あれば抜擢された。それが大きな力となつた。会津藩は、自分でもどうにもならないと思ひながら、その幕府のあるべき方向を堅持して、そして戊辰戦争を最後までたゝかつたのであつた。

私は、いつか会津若松に遊んだことがある。そして、あの城跡をみて、ふと、「これがあつたから会津は最後まで戦う氣になつたのだな」と周囲に語つたことがあるが、城堅く兵強し、というのが果して会津藩の自信の一隅にはなかつたらうか。これも、天皇と將軍の二人の信頼とともに考へてみなければならぬことかも知れない。

写真・伏見の戦いを描いた錦絵 (立命館大学教授)

目でみる会津百年

あの日のあの時



籠城中たこあげをする会藩の少年たち

会津百年の歩み——それは有為変転、激動と苦悩の中にあつた。しかし、明るく希望に満ちた瞬間も忘れてはならない。記録の中からそれらをダイジェストしてみた

た。その日、明治元年九月二十二日、会津藩は北追手門に白旗をたてて戦いは終わった。

藩主松平容保は家老を従え、甲賀町通りの降伏式のぞんだ。西軍からは軍艦中村半次郎らが錦旗を立てて式場に入る。……やがて容保は城中の空井戸を埋めた戦死者に花束をささげ、滝沢村の妙国寺にはいる。

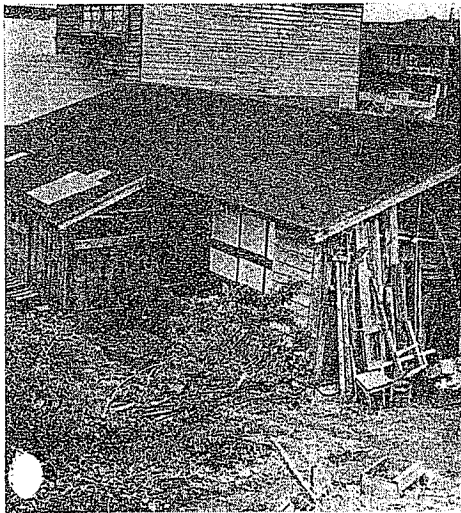
翌二十三日、鶴ヶ城で開城を迎えた四千九百余人が城を出、二十四日本城受取りのため、中村半次郎が入城して城門に錦旗がひるがえった。

かくて、西軍の掠奪、暴行の横行や戦禍のために、若松はしばらく無秩序の渦中に悩まされたのである。

斗南への住移

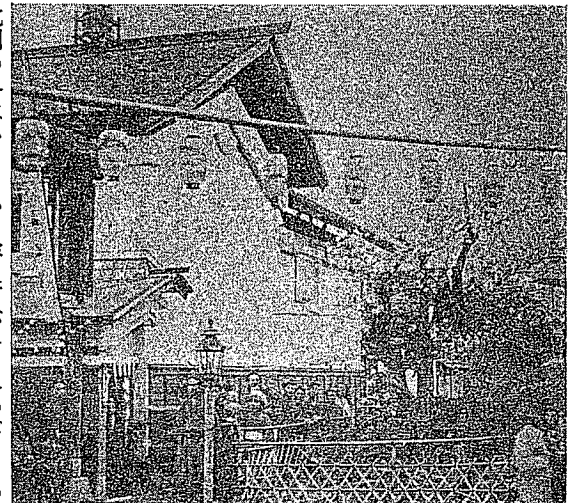
会津藩士の残酷物語

明治二年正月、生きのこり藩士四千七百余人は、越後の高田藩と信濃松代藩に謹慎を命ぜられる。そして翌三年四月、かれらは北国不毛の地斗南に移住する。およそ二千八百戸、家



斗南に残る会津藩士の家

牛乳や牛肉は十五年前後らしい。二十六年には片柳町の「上田滋養軒」が合一合三銭の牛乳を売りはじめ、西洋文物が盆地にも流れてきた。



ガス燈が灯り文明開化の波が…(明治7年)

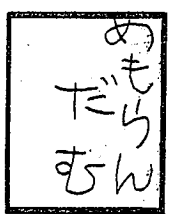
北国の冬はいささかも容赦はしない。連日の雪と烈風、に苦しめられたかれら、その年の元旦、梅湯をのんで祝い、はるかに会津盆地をしのんで、いつ果てるとも知らないどん底生活にたえていた。

文明開化

新しい文物 文明開花の波は、敗戦の

若松にもしのびよる。明治三年、会津藩士の青木といふ人は、三人の外国人が石ヶ森金山でパンを食べているのを見た驚きを日記に書いていた。同じく明治三年、七日町の旅籠屋山口屋の長男善蔵は、横浜の貿易商の店員に住みこみ、洋服・山高帽をかぶって若松に帰省したので、たちまち町中の大評判になった。

明治六年、赤井町の新設平右衛門は、市民のためにガス燈をつけるよう願書を出している。東京の銀座にはじめてガス燈が灯された翌年のことである。この時の願いはさんねんにも採用されなかつたが、のちに実現し、甲賀町角(森川)のガス燈の写真が残っている。



よき時代の鉄道輸送

表裏日本を結ぶ磐越西線は産業、観光の発展に大きな役割りを果たしています。戊辰百年を迎えて、こころは磐西線の電化も実現し、ますます、利用度は高まっています。明治の昔は、どのような姿だったでしょう。古い新聞から当時の模様を偲んでみましょう。

明治四十一年、八月、若松駅に於ける乗客貨物取扱数量を聞くに、左の如し。乗客人員一万五千五百二人、客車収入金は八千五百三十三円七十六銭、送出貨物三千二百五十九屯、到着貨物二千五百四十屯、貨物収入金九千二百四十五円七十八銭にして、送出貨物の主なる物は、酒、陶器、漆器、木材、木炭、野菜にして、到着貨物の主なる物は外米、麦、豆、砂糖、食塩、石油、肥料等なり。と、いうような状況でした。

自由民権運動

清水屋事件

生活にあえぎ、うちのためされていた旧会津藩士に、三島県令は十六万円という授産金をあたえた。歓喜した士族たちは百十余人の人力車に乗って使者を滝沢峠まで迎え、その日七日町の芳喜楼で樂を奏し祝宴を開く。

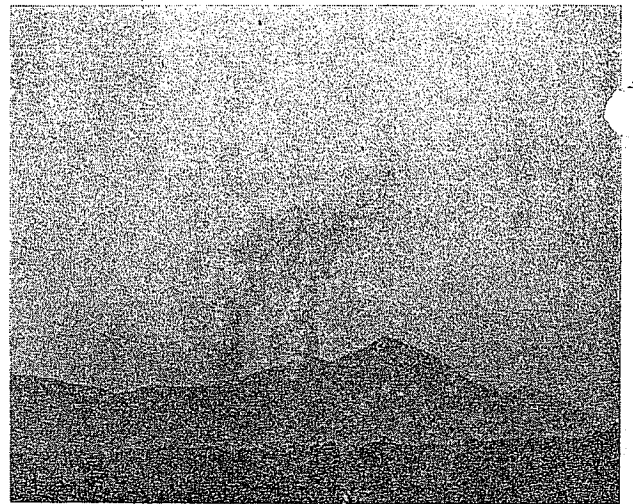
磐梯山の爆発

あゝ無惨

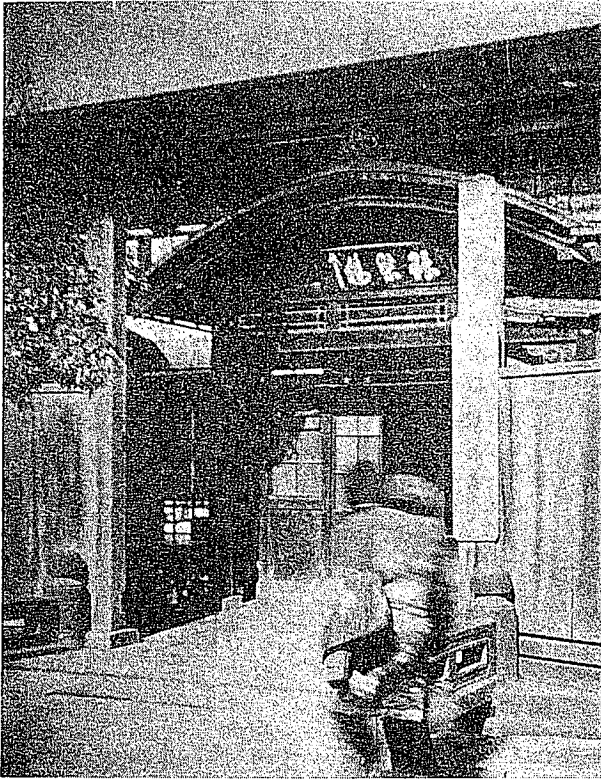
だから、かれらは三島県令の道路工事に反対する自由黨員を憎み、三島の意をくんで行動した。十五年八月十七日の晩、会津土族七・八名は、自由黨員田母野秀頭・宇田成一らの泊っている米町清水屋旅館を襲撃し、灼熱の巨石を雨のように降らせた。若松町民は黒煙におおわれ、不気味に山鳴りのつづく東の空を仰いでおののいた。

明治二十一年七月十五日、午前八時三十分、磐梯山が轟然爆発、火焰を噴き、灼熱の巨石を雨のように降らせた。若松町民は黒煙におおわれ、不気味に山鳴りのつづく東の空を仰いでおののいた。死んだ者四六二名、牛馬

五十四頭、しかも、死体の発見されたものはわずかに十九名で、四百名ちかくはそのまま地底深く永久に埋



明治21年7月15日の磐梯山噴火の様



民権運動家の襲われた清水屋（明治15年）

まっってしまったのである。発見された死体は焦石土に焼かれ、ほとんど裸体のまま、「首足処を異にし、四散形を欠く」という惨状だ。磐梯温泉で入浴中の二十八名全員死亡、雄子沢部落は総人口百二十人のうち、実に百三名が死亡して壊滅、白木城部落は十七戸のうち十五戸が土砂深く埋没した。

「会津磐梯山は宝の山市が誕生した。戊辰戦争い

折念ぬい、市政が施行され、町役場が市庁舎となった（明治32年）



図書館今と昔

大正十一年九月十四日

付の会津日報によると

「市立会津図書館にお

ける八月中の閲覧人員は

生三百二十人、実業家

四十五人、官公吏軍人

四十一人、記者教育宗教

家三百八十四人、無職

九十五人、記者教育宗教

家三百八十七人、合

計一千七百七十二人

にして

一日平均四十五人。閱

覧図書冊数一日平均百

六冊にして総てにおい

て昨年

の約倍に当り、閲読書

籍の種類は依然文学書

を

第一に、地理歴史もの、

次は宗教物にして、雑

誌

にては専門的のものより

通俗向きが多く読まる

傾向なる由因に毎年九

月

に入る来館者激減せる

が、本月は前月と大差

なき程盛況なりと館主

の談

なりき。」

ところで、昭和四十

二年八月現在の閲覧人員

は

一般六百三十人、学生

四

千四百十三人、児童五

百

九十五人、合計五千六

百

三十八人（男二千八百

二

十三人、女二千八百十

五

人）。閲覧図書冊数一

日

平均百十八冊で多く利

用

されたものは①社会科

学

②文学書

③郷土資

料

④語学

⑤歴史もの

とな

っています。

ちなみに、市立会津図

書館の開館は、明治三十

七

年二月十一日。

市政の施行

新しいスタート

明治三十二年四月一日、福島県最初の市として若松

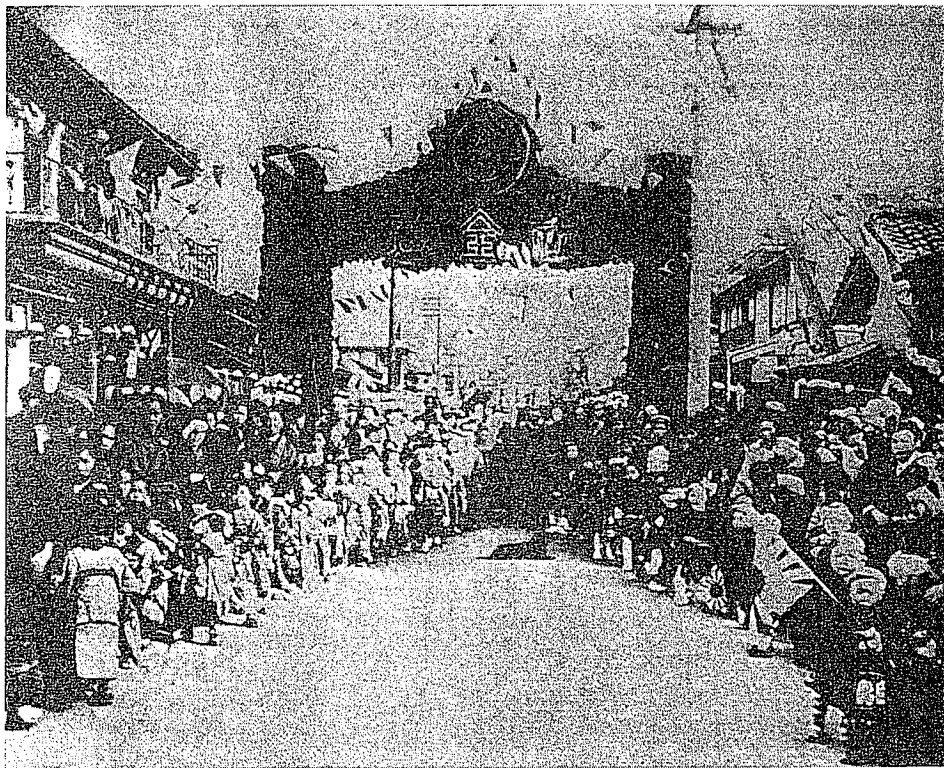
市が誕生した。戊辰戦争い

なみならぬ努力が実をむす

「会津磐梯山は宝の山市が誕生した。戊辰戦争い

なみならぬ努力が実をむす

なみならぬ努力が実をむす



郡山—若松を結ぶ岩越鉄道（磐越西線）の開通祝賀風景（明治32年）

汽車の開通
岩越線完成のよるこび

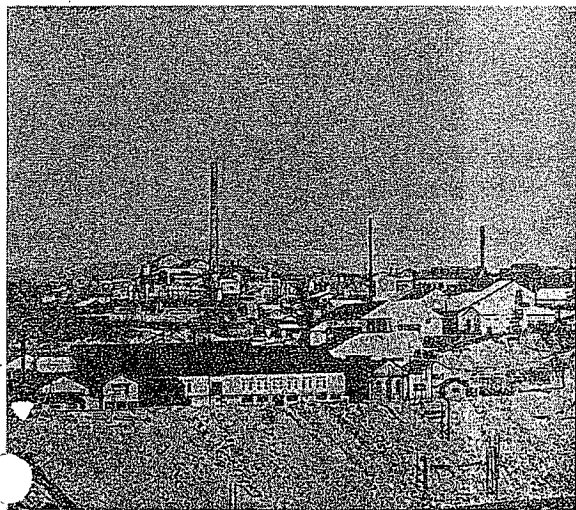
それまで約十年の間、血の流したような請願や運動を、つづけていた鉄道は、明治三十一年七月十五日に開通した。その日は、朝から花火がドンドン打上げられ、駅前には杉の大アーチ、市民は軒先に提灯と国旗をかかげ、街には飾り物があふれ、彼岸獅子のハヤシが賑わい、屋台、山車がねり歩き、数万の人々がこの日をよるこびであった。若松発の一番列車は花火を合図に、高瀬左衛門、福西伊兵衛、星野善八らが万歳の声を送られて出発した。郡山までの料金が五十九銭、二時間四十五分かかった。

起工式は三十年の十一月二十一日、翌年七月二十六日に中山宿まで開通、三十一年の三月十日にはもつと湖の水を利用して電力開通が急速に、む。安い電力

近代工業の興り

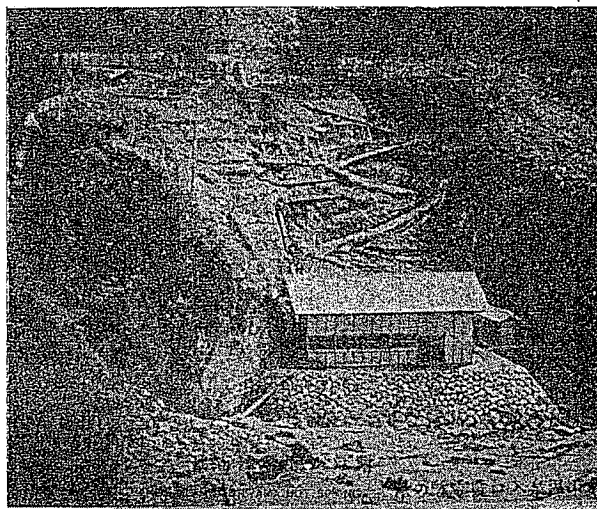
めぐまれた電力

（全国平均の三分の一だった）と豊かな労働力、さらに用地が無償で入手できる上に、鉄道も敷設されて会津にも近代工業が出現する条件がそなわった。大正のはじめ東原の日本化学、広田製鋼・大寺製錬所があい次いで出来、おりからの第一次大戦のぼつ発による軍需ブームのよって、近代化を誇示していた。昭和に入ると広田製鋼は三菱の傘下に入り、大寺製錬は日本遭達に買収、日本化学は昭和電工として再生した。かくて、赤土と巨大な石の散乱する不毛の地に、大規模な近代工場がつつぎに出現して、あたりの様相を一変させ、漆器・清酒・木工・織物・綿などの既存産業に対比する重化学工業が出現した。



恵まれた電力は大工業を発展させた

しかし、いぜんランプの家が多く、会社では「電燈之効用」という印刷物を各戸に配って宣伝、曰く「風が吹いても消えません」若松市内の大部分に電燈が入ったのは、それから数年も後の四十二年頃だが、貧しい家庭では、大正の末期までランプを使用していた。当時冬は午後四時、夏には六時にならないと送電されなかったから、今日からみるとまことに悠長な時代だったともいえる。



東山に発電所ができ、電灯が引かれた（明治35年）

電灯の普及

ランプから電灯へ

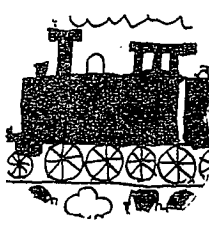
東山温泉入口の湯川のはとりに、今からみると玩具

のような発電所ができたのは明治三十三年である。配電をはじめたのは二年後の三十五年一月。その日、市民はそわそわして点灯時の午後四時になるのを待ちわびていた。やがて電燈がつくと、たちまち歓声があがる。人々は不思議そうに、あかずに電球を眺めているのだ。

成長百話

世はスピード時代
明治四十一年
七月（会津日
報より）

警句・時代は流れて一九六七年に至っても同じ熟読玩味、心すべし。何んでも時勢に遅れを取りては蛇目に候、十年前の未だ鉄道の架設せられざる時代には、滝沢の坂下に至りて上京の別れを惜しむに、二時間も三時間も泣いたり、吼たり致すは、当時相応の現象にして、何にも無理とも矢理とも申されど、今の時に当りて其様な真似を致候はば、汽車は汽笛一声を後に残して、アバヨと姿を隠し申候。然れば、今日の上京者は、軽



装、手鞆一個を軽く提げ諸君失敬という始末にあられれば、人は相手に致さず候。右は十年以前の旅立と今日の旅立ちとの相違を描き致したるものに候へ共、世は皆之に類し居り候者の所、特に開けたる世の料理店の如きは、最も注意を要し候にて、今尚昔日の夢をみて、悠々閑々頓馬の事を致居候はば、忽ち門前雀羅の不景氣を喰い申候。

勢津子姫のご婚儀

喜びにわく市民

その日、昭和三年の九月二十八日、秩父宮と松平勢津子姫とのご婚儀が行われた。戊辰戦争で、朝敵の汚名をうけた旧会津藩主の血をつぐ姫が、秩父宮妃殿下になられたのである。かたくなな旧士族をはじめ、一部の市民のなかには、朝敵と呼ばれたことへの無念が、まだ心のどこに残っていた。だから、ご婚儀が発表されると、こうした気持ちがちまちまち消え、そのよろこびは大きかった。市では三日間にわたる慶祝行事を行い、昼には小学生の小旗行進、夜には市民の提灯

行列が街をねり歩き、暗夜を明るく彩どった。

ご婚儀の成立後、勢津子姫は父松平恒雄氏とともに若松市を訪れた。その日、紅白の幕で飾られた鶴ヶ城跡の市民祝賀会場は、ひと目でも勢津子姫をみようという数千の市民で埋まっていた。

米軍の進駐

占領下の若松

昭和二十年、焼けつくように暑い八月十五日、日本は降伏した。

米占領軍は九月末若松にも進駐し、約二千人のニューヨーク部隊が完全武装のまま旧連隊に駐留した。市



若松は米軍の支配下におかれた（昭和20年）

役所には英文の看板が掲げられ、街には英文の案内や立入禁止がめだち、各家庭の玄関にも、英文の口上書がはりつけられていた。

チェインガムを噛む米兵が街にあふれ、みじめな米軍のジープが走る。若松市は戦時色からたちまち米軍色にぬりつぶされ、市民は複雑な気持ちでこの招かれざる客をむかえた。

そのころ市民は極度の食糧不足で、ようやくその日その日を生きのびていた。停電、ヤミ市、引揚者、復員軍人のあてどない姿、タケノコ生活とインフレの苦しみを味わいながら、モンペ姿に汚ないリックを背負った買い出しで、かろうじて命をつないでいた。

隣接村の合併

十万都市の発足

町村の合併は時代の要請である。

昭和三十年の一月一日、若松市は湊・一箕・高野・神指・門田・大戸・東山の七ヶ村を合併して会津若松市と改称した。人口九万八千、ここに若松は広域都市



勢津子姫のご婚儀は会津民だれしもの喜びであった（昭和3年）

として新しいスタートをきった。写真を見ると、その日、合併を祝う子供たちの旗行列が雪道の上をねり歩き、公会堂では大人たちの祝宴が行われていた。

その年四月、合併後初の市議選が行なわれて三十六名の議員が顔をそろえ、翌年三月、市民の選挙が行なわれた。

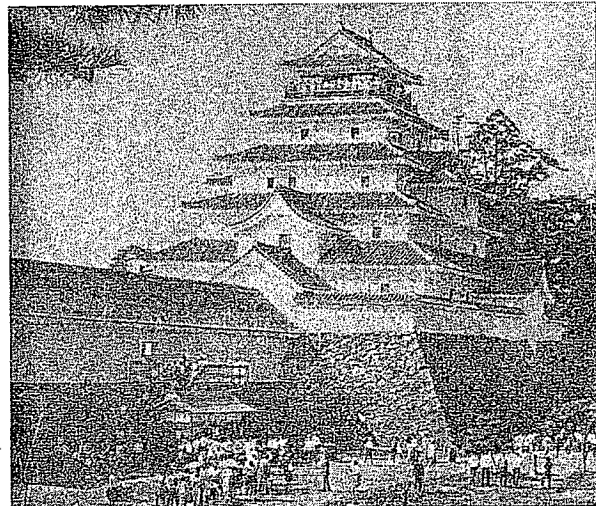
合併によって、東山・芦ノ牧温泉・背あふり山・猪苗代湖西岸などの観光地が一度に市内に入ったので、会津若松市は観光都市としての性格をつよめ、にわか

に活発なうごきをみせていった。

鶴ヶ城の再建

会津人の悲願みのる

昭和四十年九月十七日、鶴ヶ城天守閣が完成した。



観光会津のシンボル、鶴ヶ城が再建された（昭和40年）

明治七年新政府の命で取り壊されていらしい、九十年の歳月が流れていた。いま、夜空にくっきりと浮ぶ白亜の天守閣は、若松市民に心の糧を与えてくれる。

再建については、賛否の論議がやかましかったが、市議選が行なわれて三十二年の議論がやがて落ち着いた。しだいに再建の気運が大勢をしめ、観光立市の方策と相まって急速に盛り上っていった。

城跡本丸に競輪場をつくって財源を求め、いまそれを埋めて天守閣を再建する。われらは、そこに、敗戦後の混乱らしい二十年の時の流れを思わずにはいられない。

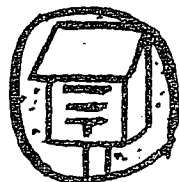
晩翠のよんだ「荒城の月」は、今そこにはない。来る日も来る日も、遠来の客は城を埋め、偉大な人工美と枯れた古城の趣に、ものいわぬ歴史を味わっている。

戊辰白話

明治の郵便利用
明治四十四年
七月（会津日
報より）

警告 積極的なPRは現代の戦略なり、古き明治におくれをとらじ。

追々中元に近づき親戚知己間、進物贈答の期節に入りたるが、隣り近所なれば贈答に格別困難なきも材木町の端より滝沢町とか、千石町より七日町とか殆んど一里近き遠方には比暑中仲々子供には間に合わず殊に東山とか高久、荒井、門田等の如き市外には是非とも人を雇わねばならぬ。



然るに之を小包郵便として何れの郵便局へ出すときは、若松市内は勿論若松郵便局にて配達する村落へは如何なる遠方へも、一メ六百匁迄一個の料金は僅に四銭（書留小包とせば八銭）にて送達せられ又包のうも通常の小包の如く嚴重にするに及ばず新聞紙包みとするか品物に依りては、単に束ねたるのみにて何の包のうをなさずとも、さしつかえなきものなれば、市内外への贈答は可成。

若松局にては毎日午前六時と午後四時四十分との二回、市内各所にて小包を取集める。

アンケート

会津開発への提言

識者が診断する会津人の精神構造
それによって生まれる、大会津建設の
課題を究明
(敬称略・五十音順)

質問内容

- 1、会津人の悪い面の性格をご遠慮なくご批判ください。
- 2、問1でのべられた事柄が会津の発展を遅らせた最大の原因でしょうか、それとも他に原因があるとすれば何でしょうか。
- 3、会津の開発をおし進めるために、現在最も大切なものは何でしょうか。



県立会津短期大学長
阿部 久次(67)

1、質朴剛健で強い正義感と忍耐性が、保守的封建的な殻に包まれているかがある。会津人のよさを知らずにはこの排他的、非社交的な殻を除いて中味の美点に触れる必要がある。これには相当の努力と時間がかかる。ここに会津の発展を停滞させた一因がある。

2、最大ではないが一因である。最大の因は交通網の不備にあるからその整備

国土総合開発審議会議長

飯沼 一省(75)



1、すべての会津人の性格に悪い面があるというのではない。いずれの地方の人にも、立派な人もあれば、くだらない人間もいる。同様に、会津人にも尊敬すべき人あり、会津人だといわれて赤面を禁じえない人もある。

2、会津の開発をおくられたものは、その自然の地勢、風土、気象等の条件であって、会津人の性格がその原因ではない。会津人はその性格について、ひげ目を感したり、卑屈になつてはいけぬ。といって決して傲慢や、粗野や、無反省をすすめるものではない。常に謙虚に、自省自戒して精神の低調化をおそれなければならぬ。

3、開発といえば、即経済開発と考えることは大きな誤りである。最も大切なものは人間の生活である。市民の生活を主として、

とにとらわれることなく、広域行政の見地から、大同団結前向きに対処することが肝要と思われまふ。

また、とかく会津の人はとつづきが悪い、愛嬌がない、商才がないと言われています。全国の代表的観光地としての誇りをもち、早い機会に入られとサービスの充実をはかることが大事です。関係業界の覚醒を要望します。

会津会会長

柏村 毅(69)



1、他人の出世をねたみその人の長所を見ることが多い。寧ろ父祖とか生立ちをけなして、その出世の足を引張る様な態度をとる。目先だけの利益にこだわって将来の発展とか、公共の福祉を考へる事が少ない。

2、目先にとらわれすぎること、協力体勢に欠けている。

3、会津全般の事項について、地元と在京人等の有識者を網羅して、各部門の委員会を作り、具体的な計画が出来たら、これをまとめて総部門の総会を開催して成案を作り、これを実施する。

九州大学文学部教授
新城 常三(56)

1、これこそが会津人の欠点だと直ちに指摘できるようなものは、私にはありません。よく云われる、強い排他的精神が、かりに会津人が外部資本をいれたがらないというような、主として非会津人との関係を



悪い性格も全国共通でしょうが、互に押し上げて引き合っている心が欲しい。仲間同族意識によってでなく実力の発揮によって公明な能率的な人事管理を断行することは役所にも、会社にも必要でしょう。

2、古い暖簾を護る心がけが小さな城の乱立競争になる。大きな会津の暖簾を皆で護る気持が必要でしょう。

3、道路の拡張と整理。大火に遭った気持で、該当住民と市当局がやればと思つても無理なことでしょう。

3、万難を克服して、高い目的を達成する開拓精神が国及び地域社会の開発にとり、最も根底となるものですが、この意味で会津には、野口博士という又とない手本を身近かに与えられているのですから、博士の伝記をよりよく活用することが、とくに若い人の教育に望ましいのではありませんか。

岩波映画製作所部長付
鈴木 光枝(41)



1、イキが短かいですか、結果を早く掴みとりたがる性格があるのではないかと感じています。追

いかけ、追いつこうとはす
るが育成し、保持しよう
という努力に欠ける。地元
の方々の反省として企業意欲
の不足があげられています
が、それもむしろ、長期的
計画の不足という方が当る
のではないのでしょうか。

2、たとえば一度と来て
もらわなくてもよいと言わ
ぬばかりの観光地、安もの
ときわめつぎの特産品がど
れほど世間にはらんして
いても一時の繁盛に魅せら
れてそれにのってしまわな
いでほしいのです。残念な
がらわが会津もそれらとひ
としく墮してゆく可能性が
あるかのようなです。自信の
なさが追隨の精神をうみ、
恵まれた自然、よき伝統を
損なうことのないように切
望いたします。

3、いま最も大切なこと
は、良いものは必ずず頭
われそして残る——とい
うことへの認識だと思いま
す。長い目で見るというこ
とへの投資、自信をもって
ものを自信をもって世間に
問いかけるということだと
思います。

それ地形的に山国と言
う環境が、一般に人慣れせず
こと更に遠慮する性質に及
び、このことが、社交上、
企業上、損をしているので
はないのでしょうか。

2、山国の通有性は、一
般に土地に対して頑固な程
愛着と申しましようか、独
占力も強く、こんなところ
に工場の誘致等の話が出
ても比較的難航することが
多いようです。この独占性
が人への独占にも通じ気楽
な解放感が一般的に薄いの
ではないのでしょうか(降雪
地帯の暗さもあるでしょう
が)。

3、会津総合開発協議会
の傘下に総結集して名実共
に権威づけること。これが
ためには広く衆智を求め、
将来の青写真を作成し此の
実現を期すことが、肝要と
思います。又工場の誘致を
真剣に考えることです。

福島県北会津事務所長

中野 五郎(54)



1、他所者に対して排他的とまでゆかなくとも、警戒心を張ることは、他地区に比して強いように思われますが、これは城下町の通有性ではないでしょうか。



長沢 節(48)

セツ・モードセミナー

1、私が育ったのは十八までは会津まで中学を出るとすぐ

2、少年時代の記憶では、白虎隊魂や軍人精神や質実剛健など、当時の悪い日本精神が凝結してのような土地柄でした。だから一刻も早く逃げ出したかったし、ま

津を去ったのです。今でも、うだうだとはいませんが、鶴ヶ城に天守閣が作られたりした噂をきくと少し不安になります。

2、何の発展が遅れているかどうか、くわしく知りません。ただ貧乏な暮らしが少しくもよくなって、市民の生活が平均して向上することを望みます。

3、観光と農業と軽工業の発展で豊かな生活が可能ならばふとスイスなどが、見本として頭に浮びます。しかし背あぶりも、東山も、真摯拂もますます低俗化するばかりのよう、一度と訪れた魅力が失ってしま

たまたま帰ってみても、たしかに貧しい感じはします。たまに鉄筋のビルがあるとそれがお役所だったり、デパートだったりして、人間の住むところは相変わらずアラ家のようです。それは逆です。先づ第一に人の住む家が鉄筋高層ビルになってほしいものです。

会津のような北国では下水と配湯の完備がなければ、最低の現代生活は考えられないし、それには、道路と同時に住宅も公共化するべきでしょう。

3、観光と農業と軽工業の発展で豊かな生活が可能ならばふとスイスなどが、見本として頭に浮びます。しかし背あぶりも、東山も、真摯拂もますます低俗化するばかりのよう、一度と訪れた魅力が失ってしま

ではないでしょうか?次に風景と史跡とホテルが完備してことで、おみやげなどは何もありません。必ずおみやげを買う日本人は世界で一ばん旅行下手だろうと思えます。殿様やサムライでない、庶民文化の伝統をもっと強くうち出していけるのではないのでしょうか。

日本不動産銀行会長

星野喜代治(73)



1、会津人の皆んながそいうだというのではありませぬが、僕等が他所に出て時

2、会津の開発、発展の偶会津人の批評を聞いてお

津の開発を遅らせた原因の一つでありましよう。然し

3、会津の開発に最も大切なのは、他の地方より資本と企業の導入を企てることだと思えます。会津の地に資本を投下した事業家

と何れも喜び、満足する躍り得なかつたなどが主因と考えられる。

3、会津発展の障害となつた歴史的、地理的諸条件を克服するため、市民一人一人が、会津魂を産業開発に傾注、若松市が、大会津市として発展することを期待してやまない。



宮本 勝也(45)

1、私は会津が好きであ

2、会津の開発、発展の偶会津人の批評を聞いてお

当地は経済発展の中心地より隔絶された東北の山間

3、会津の開発に最も大切なのは、他の地方より資本と企業の導入を企てることだと思えます。会津の地に資本を投下した事業家

逆境に立たされたため、会津開発を担って、中央で活

てこの推進への熱意と努力が肝要であり、明治戊辰百年祭はあらゆる意味に於て意義深いと思う。

そして最後に市民一人一人が、会津魂を産業開発に傾注、若松市が、大会津市として発展することを期待してやまない。

山口 康助(46)



この十年間に、ほぼ日本全国をくまなく講演旅行で

2、会津の開発、発展の偶会津人の批評を聞いてお

強い自覚と上下一体とな

しかし、いまさしあたって会津の再開発と発展をはかるためには、長い歴史と伝統に培われた会津人の特質を、みんながまず自覚し、それを十一分に発揮するよう心掛けることが根本だと思います。

なを語る

男には気骨を

明治戊辰から今日まで歩んできた会津の
男性と女性について、男性側・山内平氏
と女性側・渡部静江さんに語っていただ
きました。



山内平氏

明治の気風は

「男女七歳にして」

山内 百年ともなると、男女を問わず会津人の考え方がかなり変わって来たという印象を持つのですがね。
渡部 それは大変な変わりようですね。この百年を見て女の立場ほど変化に豊んでいるものはありませんね。
はかまの時代から今ではひざ上二十センチとね。私なんか明治育ちのせいかしらおどろくことばかりです。
山内 世の中が落ちついて来ますと、男性から女性に期待するもの、たとえば男七歳にして席を同じゅうせず」と云う時代に私たちは育った。
渡部 私の女生生時代に道路の向うからいこの中学生が来ても、決して話をすることは許されなかったですよ。
山内 今の城北小、昔の第二小学校は男女いっしょでも棟はちがっていた。昔はあたりまえ、今では笑い話ですがね。
渡部 日本国中で会津と薩摩くらい「武」の国で、女性に対してきびしいところはなかったでしょうね。
「国破れて山河あり」とい

うか戊辰戦争によってはじめて会津の女性の気質や意気込みがあらわれたのではないですが、戦争によって起った、西郷頼母一族自滅の悲劇、そして頼母の妻千重子の辞世「なよ竹の風にまかする身ながらも、たわまむ節はありとこそそぎけ」の歌が本当の会津女性の心意気ではないかと思えますね。

山内 将来の女性の理想像も、あの歌に含まれているような気がしますね。
渡部 ぜひとも残したい会津女性の特質だと思えますね。このごろは、流行が東京と同じですね。あつと云う間に会津に入ってきたね。時代の流れは早くなつて……
山内 流行は比較的女の世に多いですね。何を求めるかではなく、形だけ流行を追うことは、きわめて危険なことではないでしょうか。
渡部 私もそう思います。流行は考えてとり入れるべきものですね。会津が戊辰戦争に破れた後で、山川捨松などはあんなにハイカラだった。大山殿と結婚するまでは鹿鳴館の花形でした。いかにハイカラといつても、あの人たちの時代には、何か会津の匂いが残っていたと思えますね。
山内 ところで、娘子軍は白虎隊と並んで称えられた会津の美談ですが、一種の悲劇ですね。女性の本質からみて、戦うというものは女性的ではなく、異状性を帯びていて、思えますね。
渡部 戦争の中野竹子

優子の姉妹など娘子軍の行った行動は、やむを得なかったのではないでしょう。か。
山内 あの人たちが異状な状態だったので、社会現象が異状だったのです。最近では中東戦争でのイスラエルなど、今でも諸外国には女性の兵隊もいますが戦うべきは女性向きではありません。

体験の教育で根性を

山内 そういうことができると、勇気があつた、えらい断できない。これは、日ごとということ、白虎隊も同様の心構えができていないではないかと思えますね。
渡部 腹を切つて何がいいのかとよくいいますが、腹を切るといふ勇氣と技術を常に訓練していたことのあらわれですね。
渡部 白虎隊を生み育てた会津女性の気質を後々までも生かしてほしいですね。
山内 女性に望むことは、市では学校プールを各学校に造りましたが、水に對して恐怖心を持つていてる母親の子供は、やはり水を恐れますね。特に女の子は将来母親になるのだから、その子供が水に對して恐怖心を持つたり、犠牲にならないように教育する心が必要ですね。
渡部 どんなことにも自分の体験を通していくことで山内 そのことが大切なこ

を重点的にやらなければならぬと思えますね。
渡部 それから、西郷頼母の家族の自刃は、頼母が非戦論者であり、生命によつて出陣できず、その家族がいざ死ぬときに、あとに心を残してはならないという気持があつた時であつて、いざよく一家自滅したと考えると女性向きではありません。

徹底していた

良妻賢母の精神

渡部 まったく同感です。私の高等女学校時代は修身はきつ、何ごとも良妻賢母の教えでした。ですから進学することは良妻賢母の精神からはずれることのないで、むしろはるかにかつたくらい。師範へ行かれた方でも何人もなかったと思えますね。
山内 渡部先生がたの時代は山内 渡部先生がたの時代に上級学校へ進むことは、異例なことだったでしょうね。
渡部 そうなりましたよ。私の場合も進学は家族のみならず反対されたのです。ただ一人、伯父だけがこれからの女は勉強が必要だと賛成してくれました。東京へ行つてから進学しました。
山内 今も男も女も学力偏重ではなくて学歴偏重という時代ですから、大学や短大を出て就職した場合、一生違いますがね。女子高を出ただけで良妻賢母という立場で生活していくことを教育するには、社会自体が適合しなければ……
渡部 適合していませんね。失礼な話ですが、男性一人に頼りきれないとこの福祉国家はどうなるのかと考えますね。
山内 敗戦を機会にそうした要素が目について来たというところでしょうね。しかし、瓜生岩子のそうした考え方や素質は最初から持っていたのでしょうか。
渡部 持っていたでしょうね。物つぎだといわれるほど戦乱の中をとびまわって一生けん命、飢える人やけが人を助けたというのですから……これからの日本の福祉国家はどうなるのかと考えますね。



渡部 静江さん

対談

会津の男・おん

女はいつまでも美しく

言葉で損している津女性

山内 その問題ですね。私は、男と女は権利として同権だが質がちがう、異質同権という考えです。昔からいわれる、女の人のやさしさ、すなおさ、しとやかさなどは、長い歴史的な伝統として歓迎されて来たが、しかし、一時はそれを捨てた時代があったと思います。これを男性本位に考えるのではなくて、しとやかさなり、やさしさなりの中に「たわまぬ節はありとこそきけ」というものがあるわけで、私はこのことを消極的積極性といっていますがね。本来女性には消極的なんじゃないです。

山内 女の人たちは意識して伸びていくべきですね。会津の女の人のことを他の人は異口同音に美しいという。しかし会津女性の欠点というか悪口をいうと、一つは言葉が悪いことです。テレビやラジオの発達している時代です。美しいことばを自ら修練していくことですね。もう一つは姿勢が悪いことですね。冬の長い会津ではどうしても前屈み

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

嫁との関係が一つの悲劇的な要素として言われて来ましたが、その原因は親の心構えとしていつまでも若く美しくありたいという気持をなくした家庭に悲劇が起きてくるようです。女の人は夫に対する欲求不満の補償を自分の子供に求め愛していく。たとえば、母親が自分の娘よりもむしろ息子に愛情を持つという心理がある。そこにお嫁さんが入ってくると、親子の愛情でないものがまじって、やきもちをやく。これがしゅうとめと嫁との原因ではないでしょうか。老夫婦がむつまじい生活をしている家庭では、いざこざはない。

山内 その当時、いかに破れて復讐の心理も働いていた時代だろうと思いが、十七歳という武の世界で伸びるのでは、若年ながらアメリカへ渡って、むしろ文の世界で伸びたという勇気は、やむを得ようと、お互に努めたこと、は学ぶべきものがありますね。あの時代に進むべき方向を示した人物の一人だと思えますね。

山内 悲劇の女性といわれたお互に助け合ってたため、ればとか、後輩を抜けて行くなどという意欲が欠けていたのではなかったのでしょうか。

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

女が竹なら男は樫で……

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

山内 昔からしゅうとめと子供に期待

対談者

会津若松市教育長

山内 平

福島家裁若松支部

家事調停委員

渡部 静江



平 亮 木 鈴 切

会津学生気質

飯坂久男

中高校生気質の特質には一般的に言つて四つある。第一に反拗、第二が批判、第三不安と懐疑、第四が理想と夢である。彼らは反抗しながら自律心を育て、先生にアダ名をつけ、成人を引落すことに快感をもちながら批判精神を養い、また、不安と懐疑の中で人生の真実を探求し、理想として大臣、大将や、世界平和を夢みるのである。

ただ、特に戦前は、世のため人のために尽した白虎精神が学生気質の奥底に流れていたことは会津独特のものといえよう。

少年の大志

明治の学生気質については(会工、若商ともに明治後半に学校が創立されているが資料が少く)「会高七十年誌」と「会高通史」で読みとるしかない。その頃の会中は狭き門で、生徒たちはよく勉強しようだ。クラークのいう「少年の大志」(立身出世)を果すため

と落第しないために、平均点六十点以下、または一つの科目五十点以下は落第で、多いときは百余名の落第生を出している。ところがこの落第生が、非落第生というのを招き、講堂で大会を開き(明治三十七年ころ)さつま羊を馳走して「大器は晩成」とすると怪気焰をあげているのだから愉快である。私も学生ごろ小樽にいたが、クラークの教育方針は、国家人類のために尽す人間の養成にあったと聞いた。

大気焰・小気焰

大正時代になると、儒教的な明治の学生気質は西欧的教養で中和されてしまい、いわゆる大正デモクラシーを生む。ロシア革命、米騒動、原敬内閣成立のころである。しかし、会津の一般の学生は質実剛健の風風から柔剣道を二大山脈とする、今のクラブ活動に余念がなく、各校ともリンチ事件が多かった。もちろん会工に校友会誌「福工誌」若商に「若商学報」は創刊されたが、注目されることは、大正二年学商會誌(学商會創立二十年(1912年)に現れた

「学商會は自治団体なり」という東大生柳沢健氏(後の詩人、外交官で会高などの校歌作詞者)の寄稿である。

自治の範囲を制限している学校への反発であった。これより先、学商會雑誌に「大気焰、小気焰」という題で、柳沢氏らの強剛意見が載った。柳沢家系譜に、殿父良三氏(初代行仁小校長、昭和十七年刊行、若松市史編集主任)は次の意味のことを述べておられる。

「健が会中五年のころ、級監(今の級担任)兼坂先生が家庭訪問された。その時、先生はその大気焰は息子の文章らしいが、先生たちから掲載中止を直言するよりは殿父から意見願いたいといわれた。



私は健を膝下に呼び「学生の身で先生の心を勞せしむるは不逞である」とをさとした。息子は涙を流し心配しないで欲しいと言った。学商會が自治

団体だということについても息子は諸先生の面前、同友の席上で直言していたようだ」と。

世界平和

昭和前期の軍国主義の頃はさておき、今の高校生気質はどうだろうか。先ほど市内の高校で調べた価値意識調査の一部からみてとって頂きたい。

(会高、会工、会二高、若一高、若商、会女、若女、調査人員一〇〇六名)

①人生の理想として一番強く心をひかれることは何か——世界平和と答えたもの五〇パーセントで一位②支持する政党——革新政党二九・九パーセントで一位、ついで支持政党なし、保守党の順③金について——金で割切れないものあり八一パーセントで一位、万事割切れるが七パーセント④親孝行について——大切だと思うが八一・三パーセントで一位⑤自分の親友が少々不正をした時——かばってやるべきだ四七・五パーセント、かばう必要なし一三・六パーセント。

大多数の学生は、大体健全であるが、世界平和が理想であることは注目される。

むすび

今の学生は我ままだといわれ、一部の非行が問題になっている。しかし、非行は別として、我ままさや反発心がなかったら自発心も、自主性も生れない。問題は民主的方向で、家庭、学校、社会が、それぞれどう受けとめ、どう指し示るかにある。

(若商教諭)

ガイドブック

主要観光地
中心で発売

好評！ハンディな道あんない

自然と歴史 / 会津のいでゆ / 名勝と史跡 / 鶴ヶ城のみどころ / 歴史さんぽ / 古代会津の語るもの / 白虎隊 / etc

内容

■B6判・総写真版・定価150円

会津

<観光と歴史>

編集・会津若松市出版会 発行・会津若松市

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

人口動態

(8月1日現在)

世帯数 24,854 (+ 5)
 総人口 101,877 (+ 88)
 男 48,155 (+ 22)
 女 53,722 (+ 66)
 出生 150件 死亡 51件
 転入 309 転出 324
 婚姻 218 離婚 12

二十二日午後一時三十五分、一分間

先人の霊に黙とうを

明治戊辰百年祭記念式典で

明治戊辰百年祭記念式典は九月二十二日午後一時三十分から市民会館に約千二百人が列席して、厳肅に挙行されます。

式は開式のことばに続いて、一時三十五分から一分間の黙とうによってはじめられます。

とくに会津百年の歴史を築いた先人の霊をなぐさめその遺徳と偉業に心から感謝するために、サイレンとともに全市民が、この時一斉に黙とうをささげることになっていきます。

続いて国歌「君が代」の斉唱、横山同祭実行委員長の式辞のあと、秩父宮妃殿下の御臨幸が、この時一斉に黙とうをささげることになっていきます。

明治戊辰百年祭記念式典とお接しになります。またにお臨みになるため、二十日、会津若松入りされる秩父宮妃殿下は、お帰りま津の日をお過ごしいただけるの二日間を、親しく市民よう市民全部が心がけたいものといたします。

22日にご来若

秩父宮妃殿下のご日程から

明治戊辰百年祭記念式典とお接しになります。またにお臨みになるため、二十日、会津若松入りされる秩父宮妃殿下は、お帰りま津の日をお過ごしいただけるの二日間を、親しく市民よう市民全部が心がけたいものといたします。

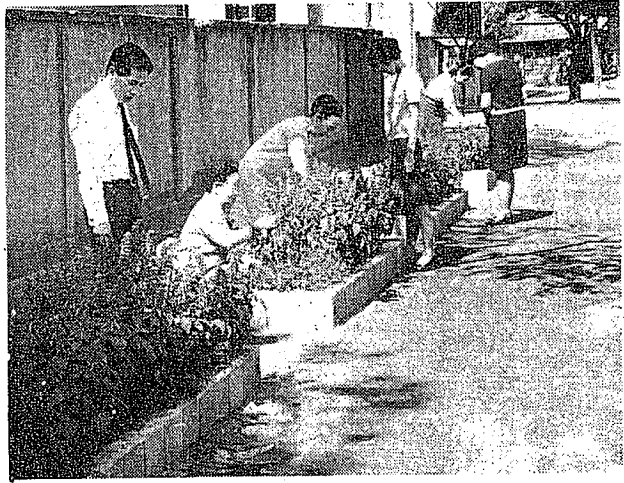
みごとに咲いた

サルビアの花

いま、追手門通りの両側(裁判所から専売公社間)に、真っ赤なサルビアとケイトウ、マツバボタンの花が、みごとに咲き競っています。

この花は、市都市美化推進委員会の花いっぱい都会の人たちが、まちを花で飾りましょうとブロックで花壇をつくり、さる七月二十日、苗を植えたものです。花の咲くまでは、鶴城地区婦人会の有志や同地区のあおい子供会のみなきさんが、毎朝花壇の手入れを続けてきました。

また、お城のテニスコートの北側に市内各地区婦人会が作った六つの花壇も、きれいな草花がたくさん咲いて訪れる人々に良い印象を与えています。



4つの行列コースのあんし

- △日新地区少年白虎隊行列(22日)
 - 北出丸(正午出発)→追手町一東栄町(護教小前通り)→市役所前→市民会館前(舞踊・剣舞)→郵便局前→神明通り(舞踊・剣舞)→旧栄町三丁目通り→旧赤井町→旧当麻町(舞踊・剣舞)→七口町(舞踊)→旧北小路町→旧西名子屋町(舞踊・剣舞)→旧新小(午後3時半発、舞踊・剣舞)
- △提灯行列(22日・各班午後6時10分出発)
 - A班(城西地区)→市営陸上競技場→追手町(県事務所前)→旧栄町→町一→旧中川原町
 - B班(行仁・一宮地区)→競技場→追手町→護教小前→旧大工町→旧博労町通り
 - C班(城北・日新・神指・永和・東山・門田・大戸地区)→競技場→追手町→若女角→旧栄町→四丁目→神明通り→大町四ツ角
 - D班(鶴城・護教地区)→競技場→旧宝積寺通り→旧花巻通り→追手町→護教小前→旧保徳所前→旧上ノ町→郵便局前→神明通り→旧栄町→四丁目→護教小→鶴城小
- △山車まつり(23日)
 - 神明通り(午前10時出発)→旧一ノ町→大町四ツ角→大町四丁→旧栄町三丁目→神明通り四ツ角→市役所前→旧保徳所前→旧上ノ町→旧博労町通り→一宮地区→東山地区→旧馬場五ノ町→旧馬場新道→旧大町通り→大町四ツ角→旧七日町通り→旧桂林寺町→旧赤井町→一宮地区→旧栄町→四丁目→神明通り(午後4時半発)
- △白虎行列(24日)
 - 北出丸(午前9時出発)→護教所東側通り→市役所前→神明通り→馬場名子屋町通り→旧馬場新道→大町通り→七日町通り→旧下大町町→旧磐見町→七日町→旧北小路町→旧西名子屋町→旧陸運寺町→旧中川原町→四丁目通り→旧花畑通り→米代通り→若女通り→裁判所通り→北出丸(午後四時着)

一万人の盆踊り大会

恒例の会津まつりはことし十五回目を数えます。ことしは明治戊辰百年にあたり、各行事は例年より以上に盛大にくりひろげられています。

会津まつり協会では、ただ今、この盆踊り大会の団体参加を受け付けています。団体で参加する方は、九月二十日までに、団体名を会津まつり協会事務局(市役所内、電話二一八三二四)へ連絡してください。

また、折から開催中の名典(市民会館・午後一時半)▽提灯行列(午後六時十分から市内行進)▽一万人の盆踊り大会・子供盆踊り大会(神明通り・午後七時半)▽明治戊辰百年祭記念式典(市民会館・午後一時半)▽提灯行列(午後六時十分から市内行進)▽一万人の盆踊り大会・子供盆踊り大会(神明通り)二十三(土)▽戊辰殉難者墓前祭(午前九時から長命寺、同十時から阿弥陀寺)▽山車まつり(午前十時から市内行進)▽一万人の盆踊り大会・子供盆踊り大会(神明通り)二十四(日)▽白虎隊行列(午前九時から市内行進)▽白虎隊墓前祭(飯盛山・午前十時)▽東日本少年剣道大会・全会津高校剣道大会(二中体育館・午前九時)▽全会津柔道大会(若商・午前九時)▽小原庄助大法要(秀安寺)▽一万人の盆踊り大会・子供盆踊り大会(神明通り)

会津まつり 行事日程

二十三日(金)▽なよ竹墓前祭(善竜寺・午前九時半)▽日新地区少年白虎隊行列(正午から市内行進)

二十四日(日)▽町内装飾コンクール(全市)▽全日本・全会津書道展覧会(鶴城小)▽会津ゆかりの名刀展(公民館)▽会津まつり写真コンテスト

お知らせ

道路交通法が一部改正に

去る八月一日付で道路交通法が一部改正されました。この改正理由と概要は次のとおりです。

改正理由

最近における道路交通の実情にあわせて、①歩行者の保護のための車両などの通行方法に関する規制を強化した。②大型自動車の運転の資格要件を厳格にした。③悪質重大な交通事故を起こした者に対する運転免許の効力の仮停止の制度を設けることとした。④大衆に発生している道路交通法違反事件を迅速かつ合理的に処理するため、比較的軽微な違反行為について行政機関の通告に基づき、定額の罰金を納付させることとし、刑事訴訟を行わないこととする制度を新設することとした。

改正内容

先づ施行日区分によって改正内容をみますと、一、公布の日(八月一日)

今日の納期は25日
 今日は国民年金保険料第2期分の納期です。忘れずに、最近の指定金融機関へお納めください。

から施行されているもの
 (1) 高速自動車国道における通行区分の改正
 (2) 警察本部長に対する公安委員会の事務の委任(免許の保留および免許の効力停止に関する事務)
 二、十一月一日から施行されるもの
 (1) 横断歩行者の保護のための通行方法(横断歩道および横断歩道のない交差点における歩行者の優先)の改正
 (2) 車両総重量八トン以上または最大積載量五トン以上の上の大型トラックには、道路運送車両法および道路運送車両の保安基準により運行記録計を備えなければならないと規定されているが、今回の道路交通法の改正では当該運行記録計を備えていないか、または記録の調整がされていない自動車の運行を禁止し、かつ、当該自動車の記録の一定保存を義務づけた。
 (3) 車両などの運行を管理する者(安全運転管理者など)の義務の強化を図った。
 (4) 大型免許を有しても車両総重量一万一千キログラム以上のもの、最大積載量六千五百キログラム以上のもの、乗車定員三十人以上のものまたは大型ダンブカーなどは満二十一歳以上で運転経験二年以上のもの

者でないとい運動できないこととされてきたが、今回の改正で運転経験が「三年以上」に引き上げられた。
 (5) 免許の欠格事由および受験資格について、大型免許は年齢二十歳以上でかつ普通、大型特殊、軽の各免許の運転経験期間の通算が二年以上のものでなければ受験できないこととなった。
 (6) 免許の効力仮停止制度(免許の効力の停止は従来公安委員会の所管事務であるが、この事務の一部を警察本部長へ警察署長に委任することにした)が設けられた。

種痘を実施します

市衛生課では、九月二十五日から次の該当者を対象に種痘を実施しますので必ず受けるようお願いいたします。
 △該当者 生後二月から今まで一回も受けたことのない者。来年四月小学校へ入学する者。来年三月小学校を卒業する者(各学校で実施します)
 ▽手数料 無料

老人健康診査実施日程

ただ今、老人健康診査を実施していますが、次の日程で続けて行ないますので満六十五歳以上の方は必ず受診してください。
 実施地区、会場などは次のとおりです。
 くわしくは市福祉事務所(電話二二四四八)へお問い合わせください。

月日	対象地区	会場	時間
9月20日	行仁地区	養神社	9.30~15.00
9月21日	行仁地区	第三児童館	9.30~15.00
9月29日	淡地区	山田坂	9.30~10.30
		戸笹中	11.10~12.20
		高野	13.10~14.30
10月2日	澁教地区	所堂	9.30~15.00
10月3日	澁教地区	高野	9.30~15.00
10月4日	東山地区	道本	9.30~11.30 13.00~15.00

種痘日時および場所

接種月日	検査月日	接種時間(午後)	検査時間(午後)	場所
9月25日	10月2日	1.30~2.30	1.30~2.30	町北公民館
〃	〃	2.00~3.00	2.00~3.00	高野公民館
9月26日	10月3日	1.30~2.30	1.30~2.30	一箕公民館
〃	〃	2.00~3.00	2.00~3.00	東山公民館
9月27日	10月4日	1.30~2.30	1.30~2.30	神指連絡所
〃	〃	2.00~3.00	2.00~3.00	門田公民館
9月28日	10月5日	1.30~3.00	1.30~2.30	澁教小学校
〃	〃	2.00~3.30	2.00~3.00	日新小学校
9月29日	10月6日	1.30~3.00	1.30~2.30	鶴城小学校
9月30日	10月7日	1.30~3.00	1.30~2.30	城北小学校
〃	〃	2.00~3.30	2.00~3.00	行仁小学校
10月9日	10月14日	1.30~3.00	1.30~2.30	城西小学校

三、昭和四十三年七月一日から施行されるもの
 反則行為に関する処理手続の特例が新たに一章八カ条に条文化された。
 すなわち、罰則に明示されていない行為の一部であったが、軽自動車、軽自動車(軽車を除く)の運転者が反則行為をなした場合は、反則行為の区分に従って限度額二千円から一万五千円まで

の反則金を固に納付することとなり、反則通告を受けたいの翌日から十日以内に政令で定めるところにより納付した場合は、当該通告の理由となつた行為に係る事件について公訴されないことになる。
 四、昭和四十三年九月一日から施行されるもの
 軽自動車、軽免許がそれぞれ普通自動車、普通免許

戦没者の遺族の方へ

戦没者関係の援護についての調査、あるいは、追悼式などがある場合、遺族の方などが不明では困りますので、住所を移動された方は必ず市福祉事務所社会係、または市遺族会事務所(大町二之町分庁舎、電話二二一九一)に届け出て下さい。

商業実態基本調査を実施

十月一日現在で商業実態基本調査が実施されますがこの調査は全国的規模にわたる調査の業種についてその実態を仕入、販売、経理従業者、金融、立地条件などの諸要件を調査して立体的に観察し、今後の商業対策上の生きた重要な資料と

戦没者の遺族の方へ

以上が改正部分の概略となる。
 以上が改正部分の概略で、なお自動車運転免許取得を希望される方はいつでも、市企画課統計係では望んでください。
 毎月26日は交通事故移動相談所
 九月の第五週(九月二十六日)から県交通事故移動相談所が北会津事務所内で毎月二十六日開設されます。これは、ますますふえる交通事故に対して被害者、その遺族、親族または代理者を対象として、交通事故に関する損害賠償問題、更生問題、援護関係などを中心に相談に応じます。相談は無料とし、相談にご遠慮なくご相談ください。

地方自治論文募集

自治省と市長会など六団体が募集する、地方自治法施行二十周年記念、懸賞論文(テーマ「あすの地方自治」)の締め切りは九月三十日です。
 くわしくは、市役所秘書課へどうぞ。

農事

20日まで農協で 水稻と大豆の種子を交換

種子をとりかえないと必要量を取りまとめる必要から、農事連絡員を通じて九月二十日まで(産量を著しく低下させる優良種子の確保上、期日原因になります。同じ品、厳守)各農協並びに農協種でも、三年ごとに必ず支部に申し込んでください。種子をとりかえることが、大切である。各農協、うらち、さわにしき、(農業指導課)

- フクニシキ②中生種Ⅱサ
- サニシキ、セキミノリ、
- 農林二十一号、トヨチカラ
- ▼もち ①早生種Ⅱジン
- ツルモチ②中生種Ⅱこが
- ねもち
- ◇大豆
- 早生種Ⅱツクメシロ、ハ
- ツカリ
- ◇十アール当り種子量
- 水稻四キログラム(四升)
- 大豆、三キログラム(二升)